

研究室紹介

対人マネジメント領域

実践看護技術研究室研究室

准教授 福井 幸子（連絡先:s_fukui@auhw.ac.jp）

当研究室では看護援助に必要な理論や概念について学び、実践と研究への適用を探究します。開設2年目の研究室で、現在は今年入学した院生1名と、臨床での患者の行動や効果的な看護援助の在り方について文献を通してディスカッションし、研究課題への取り組みをサポートしています。

主な研究テーマ

- 臨床看護技術の効果検証に関する研究
- 在宅における感染予防に関する研究

主な担当講義科目

- 看護理論特論
- 看護倫理学
- 機能看護学特論Ⅰ・Ⅱ
- 機能看護学演習

研究紹介

- 臨床看護技術の効果検証に関する研究

臨床で生じた援助技術や指導の在り方に関する疑問について、観察や質問紙調査、介入研究等を通して効果的な方法を看護師と共に考え、研究をサポートしています。

- 在宅における感染予防に関する研究

感染予防の視点から安全に看護技術を提供するための方法を研究しています。

また、差別や偏見を受けやすい感染症患者の人権を守り、倫理的ジレンマに悩む看護師が専門職として質の高い看護を実践できるよう、指針となる倫理的行動についての研究を進めています。

大学院進学を希望する方へ一言

湧き上がる疑問に取り組むための理論や概念を学び、思考を柔軟に幅を持たせることが、その場限りの対応ではなく、その後の看護に深みを持たせるものと思います。

仕事の両立に励みながら通われている院生を突き動かしているものは何か、と考えると、他にも同様に目的を持っている方がいると思います。同じ目的に向かって仲間と一緒に高め合っていきませんか？

大学院生の声

臨床における看護師としての取り組みから、疾病の再発予防に関する研究に取り組んでいます。

日々の看護における些細な疑問についても研究を行うことで、より良い看護が提供することにつながり、患者さんへ還元されていきます。大学院で学ぶことで、看護における“深み”を実感することが出来ると思います。